

家族の死

召天者記念礼拝

日本人にとって死とは

- 霊魂の不滅
 - 進化論者でありながら！
- 「終わり」とみなさない
 - 輪廻思想
 - 仏壇やお盆
- 死者の崇りを恐れる
 - 先祖の崇りを災厄の源とする
 - 神として祀る

死が身近でなくなった昨今

- 身近な人の死を経験することが少ない
 - かつては死はとても身近だった
- 「死」について考えることが少ない
 - 「死に方」には興味があるが...
- 「命の軽視」をもたらしていないか
 - 短絡的な殺人・幼児虐待

家族の死の大切さ

- 家族の役割
 - 人間の成長と成熟の器
- 死も家族にとって重要な出来事
 - 死によって変化する家族関係
 - 寂しさと悲しさを知る
- 死がもたらす生の意義
 - 命の連鎖、生きていることの重要性

死に対する正しい態度

- 私たちは死に対して無力である
 - 死は少なくとも肉体の完全な終わりである
 - 死を克服することはできない
- 私たちは死について無知である
 - 死を科学的に説明することさえできない
 - 誰も完全に死んで帰ってきたものはいない

死から学ぶべきこと

- 人間の有限性
 - 限られた能力・限られた時間・限られた権利
- 自分が存在していることの不思議
 - 単なる科学的存在ではない
 - 人間は自分自身を存在させていない
- 「創造主」を認めることの重要性
 - 「造られた」こと、「生かされている」ことへの感謝と畏れ

コヘレトの言葉12章1節

青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。

苦しみの日々が来ないうちに。
『年を重ねることに喜びはない』
と言う年齢にならないうちに。